

## ドイツのビュルツブルク市長と市民代表団が医学部長を表敬訪問



医学部長との懇談の様子



資料室見学の様子



ベックマン市長より贈られた記念品

10月6日(金)、ドイツのビュルツブルク市の市民代表団25名が医学部を表敬訪問しました。ピア・ベックマン市長夫妻ら5名が河野医学部長と懇談し、シーボルト博物館館長クライングナー氏ら20名はシーボルトの資料が展示されている医学部ポンペ会館の資料室や、附属図書館医学分館の貴重図書室を見学しました。

ビュルツブルク市は、日本に近代西洋医学を伝え、日本の近代化やヨーロッパでの日本文化の紹介に貢献したシーボルトの出生地です。また、同市にあるビュルツブルク大学は、シーボルトの出身大学であると同時に、本学と学术交流協定を締結しており、両大学の学生が交換留学するなど活発な国際交流が行われている大学であります。

医学部長との懇談は、医歯薬学総合研究科の小澤教授も出席して和やかに進み、最後に記念品の交換が行われました。

(医歯薬学総合研究科学術協力課)